
名古屋学芸大学研究紀要創刊号発刊によせて

学長 井形 昭弘

名古屋学芸大学は時代の要請に応じて平成14年に開学しました。ここでは実学と人間教育をスローガンに掲げ建学の実を築いてきており、幸い世の評価を受けています。

当初は管理栄養学部とメディア造形学部の2学部でスタートしました。更に2005年度はヒューマンケア学部がスタートします。

今回、大学の顔とも言うべき大学紀要を発刊することになりました。形式的にはそれぞれの学科および教養教育に対応した別々の紀要を創刊することになりましたが、すべて共通の方向を目指しており、各紀要は総合的な視点で編集され、それらが一体となって総合化に貢献し、大学発展のシンボルになるはずです。

私はかつて旧制高校に学びましたが、そこでは単に知識を取得するばかりでなく、自立を図り、人間としての素養を学ぶ機会と時間を与えられました。このことは旧制高等学校に学んだ全ての方が実感し、誇りに思っています。勿論時代とともに形は変わってゆきますが、この教養教育の理念は是非本学でも実現したいと思っています。本学の教養教育に大きな期待を抱いている所以です。また教養教育は全学部の学生全員が交流し切磋琢磨する場であり、全人教育の視点という点で、大学教育の根幹をなす領域であると信じています。いずれの学部も専門的にやや離れてはいますが、本学は総合的視野に立った全人教育を目指しています。総合化の柱となるこの教養教育での研究成果を発信するのがこの紀要です。本学の教養教育には人格的にも優れ、かつそれぞれの分野で全国的な学者が揃っており、この紀要は本学から全国へ向けた発信情報として高い評価をうけることを信じて疑いません。

一粒の種は蒔かれました。この紀要はこれから大きく成長してゆくでしょう。われわれはそれを大きく育ててゆかねばなりません。

以上、本紀要の大いなる発展を念じて創刊にあたっての学長の挨拶と致します。